

戸を含む9階建ての1棟80戸へと生まれ変わりました。



新川市営団地

水道事業につきましては、引き続き、大浜地区や新栄町地区及び浜崎町地区内の配水管の耐震化を進め、災害に強いまちづくりと水道利用者の利便性向上に取り組みでまいります。公共下水道の整備につきましては、令和4年度に旧空港跡地周辺及び南大浜地区を含めた一帯を新たに都市計画下水道排水区域に追加し、令和5年度より南大浜地区の抜本的な道路冠水の解消に向けた詳細な調査・設計とともに、旧空港跡地周辺の新市街地形成に向け汚水幹線等インフ

ラ整備のための設計を並行して進めてまいります。

陸上自衛隊石垣島駐屯地周辺の公共用水域及び地下水の調査につきましては、陸上自衛隊駐屯地による影響等を把握する基礎資料とするため、開設前の水質調査を実施いたしました。開設後にも水質調査を実施し、しっかりと市民の健康および生活環境の保全を図ってまいります。

市道の整備につきましては、宮良地区の市道カキナマ線、新川地区の「3・5・11号街路」、真栄里地区の「3・5・18号街路商工西通り線」及び登野城地区の「3・5・19号街路二中北通り線」の車道の拡幅や歩道の整備などをを行い、市民の利便性の向上を図ってまいります。

市道の維持管理につきましては、令和4年度に運用を開始したLINEによる道路損傷通報システムを活用し、修繕等迅速に対応してまいりました。令和5年度は「石垣市道路舗装長寿命化計画」を策定し、計画的な舗装更新を図りながら、予防保全型維持管理へと移行を進めてまいります。

防犯対策につきましては、犯罪の抑止および事件の早期解決、また、災害時における迅速かつ適切な避難行動の誘導を図る目的で、人通りや交

通量の多い地域において、防災行政無線の支柱に防犯カメラを設置し、市民や観光客の安心・安全を図ってまいります。また、美崎町歓楽街等における暴力団や反社会勢力の排除に向けて、引き続き八重山警察署や美崎町自治会等の関係機関と連携して取り組んでまいります。

本市のマイナンバーカード取得状況につきましては、令和5年1月末時点での申請率が69・1%、交付率は55・3%となっており、県内11市の中で申請率及び交付率ともにトップクラスとなっております。今後、電子申請等マイナンバーカードを利用した効率的な行政サービスが拡充されることから、引き続き、申請交付窓口の休日開設や申請時来庁方式を利用した郵送でのカード受取など、市民がマイナンバーカードを取得しやすい環境を整えてまいります。

スマートシティに向けたDXの取組につきましては、令和4年12月に通信事業者の撤退によりインターネットサービスが利用できなくなった椴海大田地区の通信環境の維持に向けて、インターネットサービス事業を継承する新たな事業者を確保してまいりました。また、令和5年2月には、民間事業者と無線通信網のWiFiを活用した

包括連携協定を締結し、今後は、様々な産業・分野においてDX(デジタル・トランスフォーメーション)を加速するための土台となる通信インフラを島内全域に整備してまいります。併せて、国の「自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」及び「石垣市デジタル化推進計画」に基づき、社会全体のDX化に対応した行政サービスを市民に提供してまいります。またマイナンバーカードの普及拡大に伴い、マイナンバーカードを活用したオンライン行政手続きの普及に努め、「来させない・書かせない・待たせない」市役所を目指し、利用者の利便性の向上と行政事務の効率化に向けて取り組んでまいります。

防災の取組につきましては、令和5年度、沖縄県総合防災訓練が石垣市を主会場とする八重山地域で行われます。初期対応から救出・救助や交通対策、ライフラインの復旧、被災者支援および物資輸送などの災害時における一連の流れや関係機関との連携体制を今回の訓練を通して確認してまいります。この訓練により市民の防災意識の高揚も図られるものと期待しております。

八重山に壊滅的な被害をもたらした明和の大津波から252年が経過した